

出張報告届

令和6年10月21日

吹田市議会議長様

会 派 名 参政党
代表者氏名 久保 直子
出張者氏名 久保 直子
.....
.....
.....
.....
.....

下記のとおり出張したので届け出ます。

記



出張先	大阪グリーン会館2階 (大阪府大阪市北区天満橋1-13-15)
期 間	令和6年10月7日 から 10月7日まで 1日間
出張の成果	別紙のとおり
備 考	

報告書 「議員のための自治体財政基礎講座」

参政党 吹田市議会議員 久保直子



森 裕之講師

(立命館大学教授)

令和6年10月7日(月)

大阪グリーン会館2階

(大阪市北区天満橋1-13-15)

【講演要旨】

(1) 自治体財政の基本を学ぶ意味

・日本社会全体で急速に進行する人口減少と高齢化は地方自治体の財政に大きな影響を与えています。その中で、住民の生活や生命を守る自治体の役割を果たすために、自治体議員がリアリティのある財政分析の視座を持って、将来の自治体の政策をどのような方向に導くのがこれまで以上に重要になっています。

・しかし、「基準財政需要額や経常収支比率などの言葉の意味が難しすぎて、財政状況について住民にうまく説明できない」「正直、議員になるまで『財政みたいなもの』に触れてこなかったので分からない」と感じました。今回の議員研修会では、立命館大学の森先生から「自治体財政の基本と勘所」として自治体財政の「基本」を学びました。

・基礎を学び、今後の議会での財政議論や地域での活動に役立てたい。

(2) 吹田市

人件費と物件費

・吹田市の人件費と物件費の経常収支比率の推移は人件費も物件費も両方とも高い事がわかります。すなわち吹田市では人に関わる経費が相対的に大きいという事がわかります。吹田市の物件費に関する分析欄を読めば、「図書館や体育館等の公共施設が多いことから、施設保守や設備点検に係る経費が多額となっており類似団体内平均値と大きく乖離する状況となっている。」と記されています。つまり、吹田市では公共施設の数が相対的に多くなっていることから、それらに関連する維持管理の仕事も多くなり、これが委託料として物件費の大きさに繋がっているとされているのです。

・今後「公共施設等総合管理計画に基づき、施設の複合化等による効果的な運営策を検討し、経費の縮減を図る事が必要である。」という考え方が示されています。これは、吹田市において人に係る経費

が全体的に大きくなっている要因として公共施設の多さがあるため、これらを統廃合して施設数を減らすことを通じて、指定管理等に対する物件費を減少させていく方向性を示唆しています。

- ・公共施設の統廃合についても、一義的に正しい回答があるわけではありません。あくまでも、財政の使い方の優先順位の問題であり、吹田市で今の公共施設をそのままのこして物件費の高さを許容するのであれば、その分だけ他の財政支出を抑制するという選択をするだけの話です。

- ・ここで大切なことは、公共施設の統廃合＝公共サービスの低下という単純な見方だけでなく、財政負担の問題も一緒に考えないといけないという点です。公共サービスの水準と財政負担の問題の両方を比較考量しながら自治体全体として最も適切な行政財政の在り方をみんなで考える。これこそが自治体財政を学ぶ大きな理由になっているのです。

- ・職員数は増加しているものの団塊の世代の退職や三年間停止していた平成27年度からの新規採用の再開による平均年齢の低下などにより、平均給与が減少したため、平成29年度からほぼ横ばいになっている。類似団体内平均値と比べると高い水準が続いていることから、今後も職員体制の見直しを実施していかなければならないのです。

有形固定資産減価償却率

- ・吹田市では、多くの施設が昭和30年代から50年代にかけて建設されているため老朽化が進んでおり、有形固定資産減価償却率については類似団体内平均値と比較して同水準にあります。

- ・現在、一般建築物やインフラ・プラント系施設を含めた公共施設の最適化に取り組んでおり、長寿命化など、施設の特性に応じた最適化を推進します。

- ・学校施設については、有形固定資産減価償却率については84.5%で、本市の中でも最も高く、類似団体内でも最も高い状態にあり、施設の老朽化が進んでおり、現在、老朽化の対策として、大規模改修による施設の長寿命化に取り組んでいます。

(3) 感想

- ・自治体の財政をみていくポイントが良く分かりました。
- ・表面に現れているデータの背景にある社会経済の構造にまで踏み込んで分析する事が重要だと思いました。
- ・自治体財政に対する正しい見方を身に着けずに、財政についての理解を欠いたままでは、問題の所在や原因などが認識できるはずがないと思いました。
- ・しかし、吹田市民の生活を豊かに幸せなものにするためには削ってはいけない財政が存在し、それについての議論を深める事が議会での役割であり大事な仕事ではないかと私は考えます。